



もうすぐ夏休みです。何をするか考えただけで、ワクワクしますね。長いお休みなので、ふだんできないような体験をたくさんして、その中でたくさんの「びっくり!」や「なんで?」を見つけてください。見つけた疑問の答えは、図書室の本の中にあるかもしれませんよ。

★夏休み前の本の貸出について★

貸出日 ⇒ 7月12日(水)～14日(金)

- 今借りている本は、7月10日(月)までに全員返してください。
- 学級ごとに担任の先生と一緒に借りに来てください。
- 本はひとり3冊まで借りられます。
- 本を返す日は、9月1日(金)までです。



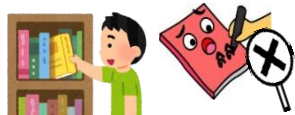
夏休み中の約束



1. 本を大切にし、汚さないようにする。

(ラクガキをしない。)

本を置く場所を決めておきましょう。



3. 友達に自分の借りた本を貸さない。

(友達の家を持ち帰らせない。)



友達と一緒に読むのはOKです。

2. ジュースを飲んだり、おかしを食べたりしながら本を読まない。

おやつは本を閉じてからにしましょう。



4. 旅行などお出かけに持っていくときは、お家の人に相談する。

お出かけ先に忘れてこないように注意!



5. もし本を汚してしまったり、破いてしまっても、自分では直さない。

夏休みが終わって返すときに、司書の先生や、担任の先生に話しましょう。



司書のおすすめ



夏休みに読んでみよう!
読書感想文にもおすすめ♪

1・2年生向け

『王さまと九人のきょうだい』 赤羽末吉(絵) 君島久子(訳) (株)岩波書店

悪い王さまが出す難題を、九人の兄弟がそれぞれの長所をいかして乗り切り、王さまをこらしめる中国のお話です。九回の兄弟のお話の繰り返しがおもしろいです。

3・4年生向け

『がんばれヘンリーくん』 ベバリー・クリアー(作) 松岡享子(訳) (株)学研

ヘンリー君は小学校3年生の男の子。ある日ひろったがりがりのやせ犬アバラーといっしょに次々にゆかいな事件を巻き起こします。

5・6年生向け

『あのころはフリードリヒがいた』 ハンス・ペーター・リヒター(作) 上田真而子(訳) (株)岩波書店

「ぼく」と1週間違いで生まれた「フリードリヒ」とは幼なじみだった。ただ一つ、ぼくはドイツ人でフリードリヒはユダヤ人だったことが悲劇の始まりだった。この夏、戦争を知るために読んでほしい一冊。